愛媛大学人文学会　公開講演会

「演じることと俳句」

武蔵野大学で俳句ゼミと落語ゼミを担当し、立教大学で演劇評論を教える俳人・舞台批評家の堀切克洋先生をお招きし、高浜虚子の能との関わりを起点に、「演じることと俳句」をテーマにお話しいただきます。コメンテーターは、本学の青木亮人先生です。後半には、愛媛大学俳句研究会の学生も加わり、ラウンドテーブルを開催します。俳句と教育、創作、俳句ウェブサイトの運営など、さまざまなテーマについて語り合っていただきます。ぜひ奮ってご参加ください。

プログラム

坂口周輔　挨拶に代えて
——フランスと俳句

第一部
堀切克洋　「演じることと俳句」
コメンテーター：青木亮人

第二部
堀切氏、青木氏、愛大俳句研究会学生によるラウンドテーブル

講演者プロフィール

堀切克洋　俳人、舞台批評家、武蔵野大学教授。句集に『尺蠖の道』（文學の森、2018年）、共著に『俳句がよくわかる文法講座』（文学通信、2022年）などがある。ウェブサイト「セクト・ポクリット」を運営し、『NHK俳句』で「ホリキリ俳句相談所」を連載中。演劇関係の著作として、単訳にマイリス・ベスリー『ベケット氏の最期の時間』（早川書房、2023年）、共著に『小劇場演劇とは何か』（ひつじ書房、2022年）などがある。

日時：11月28日（土）14時30分より（14時から開場）
会場：愛媛大学法文学部本館8階「大会議室」
＊無料、予約不要
主催：愛媛大学人文学会
協力：愛媛大学俳句研究会、坂口ゼミ（フランス言語文化）
お問い合わせ：坂口周輔（sakaguchi.shusuke.dc@ehime-u.ac.jp）